

令和3年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

認知症対応型共同生活介護

地域	事業所名	令和3年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組み方針	実施状況(令和5年3月現在)
世田谷	PAO経堂	1. 事故を予防するための手段として効果的な活用につながるよう、より積極的なヒヤリハット報告書の提出を期待します。	<p>①「ヒヤリハット報告書」を提出することの意義を、再確認して周知します。特に「ヒヤリハット報告書を書く(書ける)ということは、介護技術が未熟なのではなく”気づく力がある””という視点を持つことができるようにします。</p> <p>②様式を書きやすいものに変更します。現在の様式は、「発生場所」「状況」「対応策」などを記述する形式のため、多忙な中で作成時間の確保が難しい状況であることから、「発生場所」「状況」などヒヤリハットが発生しやすい状況を予め様式に記入しておき、その中から選択することにより、作成労力の軽減を図り提出し易くします。</p>	<p>①依然として派遣職員の入れ替わりが生じているため、ヒヤリハットに対する認識の統一を十分に行うことが難しい点が多々あることから「ヒヤリハット報告書」の意義の周知徹底を継続している。</p> <p>②再変更した様式で実施したが、「ヒヤリハット報告書」の意義の周知が不十分な点が伺え、未だ効果的に活用されていない現状がある。このため、入職したての派遣社員においても意義を確認することができる書式への再々変更を行って試行している。</p>
		2.事業継続計画(BCP)についても今後整備を進め、実際に稼働させた訓練についても期待します。	<p>①厚生労働省老健局(令和2年12月)『介護施設・事業所における自然災害発生時の業務継続ガイドライン』に沿って、現在作成・実施している『業務マニュアル』の内容を反映させたものを速やかに作成いたします。</p> <p>②作成したBCPに沿って、定期的に訓練を実施します。</p>	<p>①令和4年10月1日『感染症編』『自然災害編』とも初版完成。令和5年1月および2月に備蓄品関係、入居者・職員情報を更新した改訂版を作成。</p> <p>②令和4年12月にBCPIに沿った初回訓練を実施。その結果をふまえて、令和5年1月に改訂版を作成。今後、定期的な訓練の実施期間を検討するとともに、災害用備蓄品(水、食料、生活用品など)の点検は行っていく。</p>

令和3年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和3年度 評価結果に係る 改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組み方針	実施状況(令和5年3月現在)
世田谷	クローバーハウス駒沢	1. 支援を行うにあたり、エビデンス(根拠)に基づいた視点を持つことが出来るように職員の知識の拡充をしていく。	1. 「なぜ支援は根拠にもとづかなければならないのか」という点から職員間で確認し、認知症対応共同生活介護計画の内容の共有などを行っていく。	1. 業務に偏見のない様に更なるスタッフの質の向上を日々入居者様の介護に対する技術を指導している。
		2. 今後も継続して職員間で支援の内容に差が生じないようにしていく。	2. 接遇マナーをはじめとするマニュアル類の内容だけでなく、根拠やねらいを職員間で確認していく。	2. 職員一同入居者様に合った能力、身体など無理のない範囲でリーダーが取組、スキルアップを育成して行く様徹底する。
		3. コロナ禍で活動に制限されている中で安全に配慮しながらできる事を探求していく。	3. 「地域とのかかわりがなぜ必要なのか」という点から改めて検討し、可能なかかわりのあり方を探り、出来る場合は実践を積み重ね、検証し、より良いあり方を探っていく。	3. 入居者様の日常生活はコロナ禍で、活動は多く停止中でしたが、3月より少人数ですが散歩を実行している。5月より入居者様家族の面会を実行する予定。

令和3年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和3年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組み方針	実施状況(令和5年3月現在)
世田谷	グループホームチューレレポート	1.開設から16年が過ぎて設備備品等の迅速な修理・修繕をお願いしたい。	1.日々の環境点検を行い、必要な修理・修繕には迅速に対応します。	1.点検は行っていますが、大きな修理・修繕は現時点まではありません。見つかれば、迅速に対応いたします。
		2.本部と連携してBCP(事業継続計画)の策定をお願いしたい。	2.法人本部で作成しているBCP(事業継続計画)を共有し策定します。令和3年度ICT促進事業を活用し、安眠センサーを導入しました。必要な方に活用します。AEDの設置及び操作研修を行います。	2.BCPIは法人本部の策定後に計画することになり、まだ取り組めていません。安眠センサーは3名の入居者様に設置しており、動きがある際に訪室でき有効なので継続使用します。AEDの設置予定でしたが法人で設置しないことが決まり、併設病院からの貸出、応援になりました。
		3.生活記録と事故報告書などへの記載方法の統一を望みたい。	3.令和3年度ICT促進事業を活用し、2月より介護ソフト及びタブレット端末での各種帳票の入力研修を行い、4月より実施の計画です。	3.生活記録等はタブレットで記載方法の統一も図っています。事故報告書はパソコン操作が必要で職員によっては操作できないため別途書式で記載方法は統一するよう気を付けています。

令和3年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和3年度 評価結果に係る 改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組み方針	実施状況(令和5年3月現在)
世田谷	クローバーハウス若林	1. 利用開始前の状況把握のため、家族や関係機関とも連携を密に取り、より継続性に配慮した支援を行えるよう方法を模索していく。	1. 生活歴や生活習慣を把握しにくいケースについて、行政や家族から関連情報を引き出せるよう取り組んでいく。	1. 利用開始前の面談は必ず実施しているが、入居後に把握しにくい場合には、電話連絡や月1回の手紙等に状態をしらせ連携を取ってます。連絡など取れない場合は自宅訪問を行います。
		2. 職員間で支援内容に差が生じないように、今後も継続して手順などを確認していく。	2. 多様な背景を持つ職員の存在を前提として、マニュアルなども活用しながら業務手順に対する共通理解を進めていく。	2. 月1回の社員ミーティング、月1回のフロアミーティングの実施の際に支援内容の確認と共に各利用者様の状態確認と支援内容の確認を行っている。
		3. 外国籍の職員と利用者が言葉の壁を乗り越えていく。	3. 言語への理解を進めつつ、丁寧な関わりを積み重ねていき、利用者との信頼関係を築いていく。	3. 外国籍の職員の言葉の壁や文化の違いは大きいですが、丁寧な言葉を使い、利用者様と関わっていくことを日本人職員が指導しながら、利用者様と信頼関係を築けるようにしている。また中国語と日本語の介護用語対照資料を作成して、外国籍の職員に勉強させ、昨年1名外国籍職員が介護技能実習検定合格した。

令和3年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和3年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組み方針	実施状況(令和5年3月現在)
玉川	グループホームたのしい家上野毛	1. ケアプランが常に確認できる日々の記録を实践、現在ICT化に移行中であり、よりタイムリーな情報共有で質の高い支援に繋がる取組み。	1. 日々の記録においての大部分はICT化へ移行し職員も扱いに慣れてきている。ICT特性を理解したうえでご入居者様の日常における変化や留意点、ご入居者様、ご家族様からのご要望などに柔軟に対応できるようまた、職員のすばやい情報の共有が行えるよう取組み改善に努めたい。	1. ICT化により情報の把握や共有に関しては改善見られる。
		2. ご入居者様の日常生活等、豊かな暮らしぶりやその姿をご家族に伝える、紙ベースの新聞やSNS等を活用しての情報共有の取組み。	2. コロナ禍における施設においてのご入居者様の生活の充実のため日々の体操やレクリエーションの充実を図っている。日々の生活をご家族様と共有できるよう定期的な紙ベースでの報告やデジタルメディアでの情報発信に取り組んでいく。	2. 大規模なイベントが行えない分、日々の体操やレクリエーションの強化は行っている。
		3. 事故を未然に防ぐヒヤリハットの取組みの目的や重要性を職員に周知しご入居様の笑顔が広がる安全の提供への取組み。	3. 朝礼や会議の際に定期的にヒヤリハットの取組みの目的や重要性を職員に周知を行い意識の向上を図りたい。ICT化に伴い情報のすばやい共有を行い職員の安全に対する共通の認識をもってサービスの提供が行えるよう改善に努めたい	3. コロナ禍もあり集合することが難しい状況が続くが、タブレットなどのツールを活用し職員への周知を行っている。

令和3年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和3年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組み方針	実施状況(令和5年3月現在)
玉川	グループホームやまぼうし	1.コロナ禍の影響を出来るだけ少なくするために一層の努力を期待する。	1.午前のラジオ体操と午後の健康体操、天気の良い日に近隣の散歩は実施している。身体を動かすレクリエーション実施の機会と種類を増やし心身状況維持向上に努める。	1.10月と12月にクラスターが発生し、居室隔離対応が続いたため積極的な活動が行えなかった。天気の良い日に個別に散歩などを実施した。
		2.モニタリングが適切に実施できているか等、さらに確認し、ケアマネジメントの的確性を高めることが期待される。	2.医師や看護師とも連携し本人、家族のニーズに応えていく。	2. 毎月評価を行い、状態に変化がある時は医師往診時、訪看時に情報を共有し、指示をふまえケース会議を開催し対応している。
		3.小規模施設のため職員の業務負担が重くなって職員研修機会が取りにくくなりがちであるが、意識的に研修機会を与えることを期待したい。	3.コロナ禍において外部で集まる研修への参加は難しい。書籍やDVDなどを積極的に利用して内部研修の機会を増やしていく。	3.集合型ではなく個別型の研修を実施した。職員会議内のケース会議において個別に対応技術の指導も行っている。

令和3年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和3年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組み方針	実施状況(令和5年3月現在)
砧	グループホーム花みず木	1. 職員定着と質の向上を目指す、職員育成に向けた個別研修計画(個別育成計画)に着手することを望みたい。	1. 新しく特定技能介護士を対象に、就職して一年目から介護福祉士国家試験までの3年間の基本的な職員育成の個別計画を策定。個別にリーダーについてのOJTを行ない、理解するまで何度でも繰り返し教える。併せて、ケアの質の向上に向けたベースアップに (1)認知介護基礎研修(全員) (2)認知症介護実践者研修 (3)認知症実践者リーダー研修 (4)認知症介護指導者育成研修を推薦受講。ヒヤリハット・事故報告・虐待・拘束会議の開催などの不定期だが実践予定。	1. 一年目の職員に対しては初任者研修の取得、認知症介護基礎研修の研修実施。それ以上の年数勤務者は実践者研修、介護福祉士の資格の取得を行った。今年度入社した特定技能介護士に対しては、個別のレベルに合った外部研修を推奨し参加を行っている。
		2. 組織作りとしての職員体制の構築を図ることを期待したい。	2. 昨年ホーム長交代し、ホーム長を中心とした命令指示システムを一新。変則勤務のため日報などの記録が陳腐化してしまい役に立たない事があり、リアルタイムに情報の共有化にLINEWORKSに注目し半年前より利用を始める。また、以前と同じく早番・日勤・遅番・夜勤の交代勤務時に申し送り。また全体会議はZoomにより全員参加し実施。	2. 日報、記録等の書き方や、ヒヤリハット報告や事故報告の理解について等の介護の基礎からその都度OJTを行う。全体会議や身体拘束適正化の会議等も参加後理解しているのかその都度確認するが、全体的に言葉の壁や介護用語の理解が難しい面が多くみられているので、今後の改善課題として重要と考えている。
		3. 職員間の情報共有は、パソコンなどで行っているが、対面での引継ぎ要請の声もある。事業所としても検討課題ととらえており、対応が望まれる。	3. 新型コロナウイルス感染症の蔓延防止対策により職員同士の長時間の会議なども制限、ネット環境を充実して以前より密に研修・連絡・相談が全体的、個別的に実施できるようになった。	3. 毎週木曜日にZOOMを利用し勉強会、職員全体ミーティングを行いサービスの質の向上や職員の定着を図っている。

令和3年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和3年度 評価結果に係る 改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組み方針	実施状況(令和5年3月現在)
砧	優っくりGH喜 多見	1. ヒヤリハットの収集と、利用者の安全確保。	1. ヒヤリハットの報告数を増やし、より多くの情報を集め、利用者の安全確保を図る。	1. 各ユニットで、どんな細かい情報でも(例〇〇様がふらついて転びそうになったなど)ケアカルテのヒヤリハットの欄に記入し、ミーティング時に話し合った。その後、リスク委員会各事業所1名、月一度の開催にて他事業所と情報共有し、お互いにアドバイスを言い再発防止に努めた。また運営推進会議でも公表を行った。
		2. 職員全体の利用者情報の共有。	2. 申し送り、グループLINEで利用者情報の共有を行う。	2. 正社員にLINE情報共有し、正社員から契約社員へ情報の共有を図った。
		3. 災害時の備え。	3. 先日の地震で施設内が停電してしまったため、万が一に備える。	3. 発電機と備蓄品購入し万が一に備えた。

令和3年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和3年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組方針	実施状況(令和5年3月現在)
砧	マザースホームだんらん世田谷	1. 教育などを通して、職員層の変化に対応したスキルや意識向上に取り組む、全職員が計画を理解し統一したケアを行えるよう期待したい。	<p>1. 新人職員を含め、全職員がケアマネジメントの基本プロセス(モニタリング・アセスメント・カンファレンス)に関わる。</p> <p>上期、新人職員にもケアマネージャー指導の下、モニタリング、アセスメントの下書きを実施。ご入居者理解に努める。</p> <p>下期、カンファレンス意見の収集までを目標とする。</p>	1. 計画作成担当の指導の下、全担当者が毎月のモニタリング、半年ごとのアセスメントを実施できるようになった。カンファレンス資料の意見収集に関しても達成した。
		2. 事業所では、コロナ禍で希薄となった地域・家族との関係を再構築し、全ての利用者、家族、事業所、職員、地域を繋ぎたいと考えている。	<p>2. 地域との交流は中止となったままであるが、家族と繋がりを維持できるよう以下の取組みを続ける。</p> <p>①写真付きの月次報告書 ②SNS(インスタグラム・YouTube)の活用 ③オンライン面会 ④メールや電話などでの近況報告 その他、感染状況を見極めての面会、家族会の再開、館内での行事、活動を4回/月に増やす。</p>	<p>2. 地域との交流は中止のままであるが、家族との繋がりを維持できるよう以下の取組みを実施した。</p> <p>①毎月、写真付きの月次報告書の作成 ②インスタグラム1回/2週間 投稿 ③短時間、居室内での面会 ④メールや電話での近況報告 家族会は開催予定であったが第7波の影響で中止とせざるを得ず未開催。館内行事、活動は4回/月実施。</p>

令和3年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和3年度 評価結果に係る 改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組み方針	実施状況(令和5年3月現在)
砧	グループホームももちゃん	1. 統一したケアが行えるよう、定期的なカンファレンスを行う。	1. 月に1度は必ずミーティング開催し、全入居者のカンファレンスを実施する仕組みを作り、ケアの統一を目指していく。	1. 新型コロナウイルス予防の為、多人数が集まるミーティングを避けていたが、昨年8月以降、毎月カンファレンスを実施している。
		2. コロナ禍の中でも地域資源を利用し、入居者の生活に潤いを持たせる。	2. ホーム内の生活以外、入居者が社会資源の利用できるものをリストアップし、活用できることを表にして関わる皆が分かるようにしていく。	2. 現在、協力できる家族には入居者と近隣散歩に行くようにしている。また、地域図書館で紙芝居を借りるようになった。表作成はまだできていないが、進行中である。

令和3年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和3年度 評価結果に係る 改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組み方針	実施状況(令和5年3月現在)
烏山	グループホーム成城さくらそう	1. 環境整備について、バックヤードの整理整頓を課題としています。	1.各フロア倉庫の中身の内、必要ないものを取捨選別し、不要なものは処分をしていく。	1.機密書類処理サービスを利用し処分している。
		2.様々なリスクを想定し、BCP(事業継続計画)の策定を課題としています。	2.施設運営事業部と協力し、災害発生時の事業継続計画の策定に取り組む。	2.施設運営事業部業務支援課が作成中。
		3.現状の職員体制を維持・向上していくことを期待します。	3.定期的なスタッフの面接等により職場環境の改善に取り組み、離職者が出ないようにしていく。	3.下期は離職者が発生してしまっているが、引き続き職場環境の改善に取り組んでいく。

令和3年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和3年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組み方針	実施状況(令和5年3月現在)
烏山	木下の介護グループホーム 千歳烏山	1. 地域連携や地域資源の活用、関係機関との協力体制を強める。	1. コロナ禍で地域との関わりを充分に持つことは難しい状況だが、現在ある交流を続け、またそれを足掛かりに関わりを拡げていく。	1. 感染状況を見ながら慎重にはあるが、近隣や駅前への買い物などを再開し、ご入居者が地域資源を活用できる機会を持つようしている。
		2. リーダー層となるスタッフの確保・育成、非常勤職員の研修体制の整備など、スタッフの育成。	2. 正社員の介護スタッフの募集を行い、非常勤職員の研修体制整備など、エルダー、また計画作成担当者としての指導を行っていく。ゆくゆくはリーダーから非常勤スタッフへ研修ができる体制を整備したい。	2. 法人の方針もあり正社員の介護スタッフの新規採用は行えなかった。計画作成担当者は順調に研修も終了し、フロアの中核職員としてリーダー性を発揮することができている。また非常勤職員の中にも、認知症実践者研修受講希望者も出てきており、意欲の高いスタッフには今後も積極的な指導を行っていきたい。

令和3年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和3年度 評価結果に係る改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組み方針	実施状況(令和5年3月現在)
烏山	木下の介護グループホーム烏山	1. 法人全体で行われている育成計画の実施や個別研修の充実を図り、全職員のさらなる向上に努める。	1. 各職員の能力の把握に努め、必要に応じて直接の指導やリーダー層の職員による指導を受けながら業務に就けるよう調整を図る。また、各入居者に対する全職員の技術力向上をフォローできるように、入居者個別での介助方法を共有するツールの作成、運用を図る。	1. 職員のスキルにあわせた社内研修への参加による知識の習得・現場での実践し、委員会を通して各自が振り返りを行っていった。ツールに関しては既存の申し送りノートをより活用できるようまとめていき、使用と閲覧の徹底を適宜指示している。
		2. 地域との関係性を維持しながら、さらなる地域貢献ができるように努める。	2. ホーム長の交代やコロナ禍に伴い、地域との関係性を再構築するところから行っていく必要性が出ている。今後のコロナ禍の動向を注視しつつ、移動スーパー等、入居者のニーズを満たしつつ地域との交流機会の獲得や貢献ができるものの導入を図り、周知に努めていく。	2. コロナ収束が見られてきており花壇の整備により、お花や野菜の苗を入居者と一緒に植えた。結果、手入れの際に、ご近所の方にお声かけいただくこともあり地域交流を徐々に再開していきたい。

令和3年度 第三者評価結果に係る改善課題、取組方針及び取組結果

地域	事業所名	令和3年度 評価結果に係る 改善課題	事業所の取組方針・実施状況	
			改善のための取組み方針	実施状況(令和5年3月現在)
烏山	烏山グループ ホームくつろぎ	1.中堅職員を次世代のリーダーに育成するため、コロナ禍にあっても、中堅職員に相応しい研修科目を受講させることを望みたい。	1.リーダーの育成のために、外部研修の受講とともに法人内の人材育成を法人本部と協議し実施していきたい。	1.リーダーが外部研修を受講した。 ①世田谷区福祉人材センター主催による「在宅療養講演会シンポジウム:住み慣れた自宅で最期まで安心して暮らし続けるために」 ②世田谷区福祉人材センター主催の「誰もが安心して暮らし続ける世田谷を目指して」 人材育成については本部と協議し研修を企画したがコロナにより延期となっている。
		2.施設が有している機能や福祉の専門性を活かして、福祉避難所など地域の社会資源の一つになることを期待したい。	2.コロナ禍が続いて地域との連携、協力体制の機会が減っているが、施設から発信できる施設機能を生かした企画や事業を実現していきたい。 (例:福祉避難所や認知症予防講座等)	2.ダイルームを活用し【NPOグッドネーバーズジャパン】と協力してひとり親世帯に食品等の無料配布を毎月1回行っている。
		3.リニューアルしたホームページにアクセスし易くなることを望むとともに、活動報告を掲載し施設をPRするなど、さらなる活用に期待したい。	3.法人ホームページでの一般向けの事業PRのほか、閲覧を特定した利用者家族向け等に活動や生活支援場면을報告できるツールを検討して実施したい。	3.法人ホームページで利用者家族向けに行事(ひな祭り)等の活動支援場면을報告した。